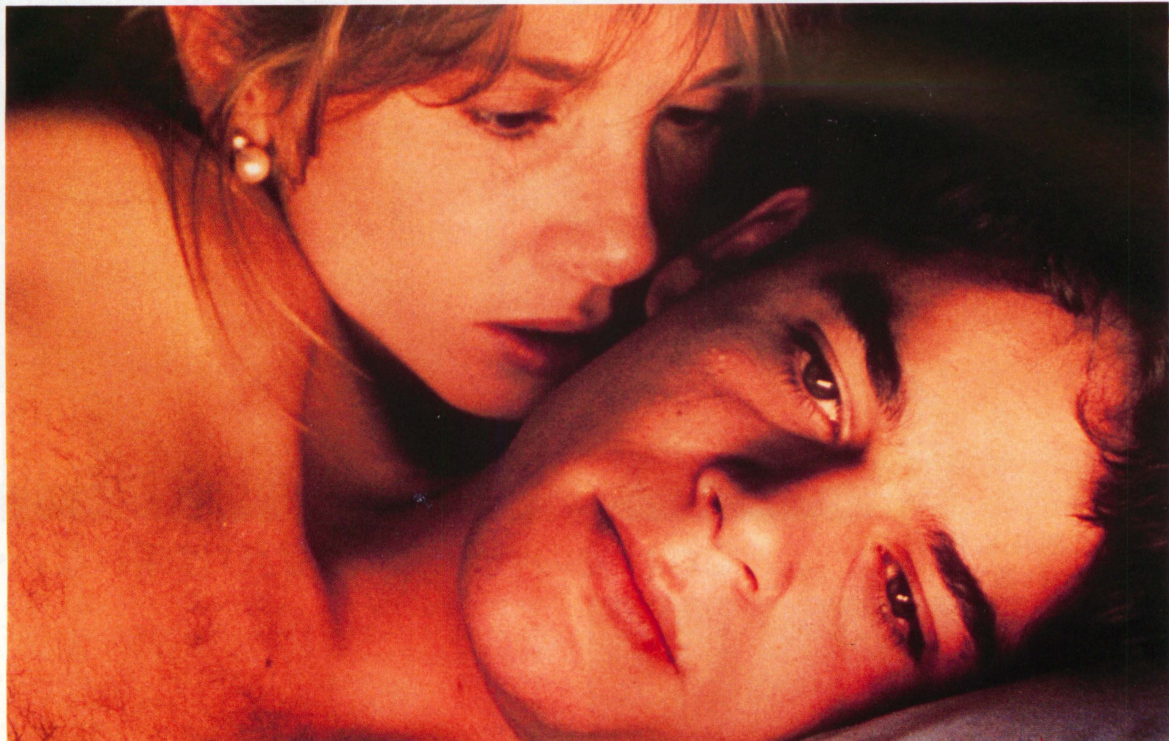


SEXのことを考えるとき、なぜ人はそれを愛と言うのですか？



CAST  
PACO JORGE SANZ  
TRINI MARIBEL VERDU  
LUIISA VICTORIA ABRIL  
CREDITS  
Director VINCENTE ARANDA  
Screenplay ALVADO DEL AMO  
CARLOS PEREZ MERINERO  
VINCENTE ARANDA  
Producer PEDRO COSTA MUSTE  
Production Director CARLOS RAMON LLUCH  
Director of Photography JOSE LUIS ALCANE  
Operator ALFREDO MAYO  
Stills Photography ELYSIA SANCHEZ GALLO  
Art Director JOSEF ROSELL  
Costume Design NEREIDA BONMATI  
Sound MIGUEL ANGEL POLO  
Editor TERESA FONT  
Music JOSE NIETO  
Promotion and Publicity CHARO EMA

# アマンテス AMANTES

愛人



BERLIN 1991



ビクトリア・アブリル/ホルヘ・サンス/マリベル・ベルドゥー  
製作 ペドロ・コスタ・ムステ 監督 ビンセント・アラнда 脚本 アル/ロ・テル・アーモ/カルロス・ベレス・メ/ル/ロ・ビセンテ・アラнда 音楽 ホセ・ニエト 撮影 ホセ・ルイス・アルカイネ 配給 線ウエスト・ケープ・コーポレーション (R)  
ベルリン映画祭・最優秀女優賞(銀熊賞)ビクトリア・アブリル・ゴヤ賞(スペイン・アカデミー賞)最優秀作品賞・最優秀監督賞





●V・アブリルはこの映画の官能的な演技で  
新境地を開拓した 米・プレイボーイ誌

●この上なく洗練されたスタイルと想像も  
できなかった大胆なシーン ニューヨーク・ポスト

●「ラスト・タンゴ・イン・パリ」を思わせる愛の姿  
ニューヨーク・デイリー・ニュース

●パワフルで大胆な演出で、愛しか見えない  
男女を鋭くとらえている ヴァラエティー誌

●セクシーでスタイリッシュ!  
ニューヨーク・ニューズデイ

AMANTES

年上の愛人、無垢な婚約者  
両極の愛にゆれる男の本能と理性

これは愛の戦争。この愛だけは譲れない・・・。



愛とSEXの関わりは、映画、小説などのテーマとして数多く取り上げられ、いつの世も愛し合う男と女に最高の快樂と、つきることのない切なさを与えつづけてきた。人を愛するとき一度は誰もが通らなければならない身を焦がすような熱い想い。そんな気持ちガスクリーンからこぼれだしそうな、激しい愛の映画、「アマンテス 愛人」。灼熱の愛をつらぬき通すふたりの女とひとりの男の物語。フランコ政権下で三面記事を賑わせた実在の事件を題材として描かれたこの映画は、愛すること、愛されることの意味を、肉体と理性の葛藤を通して見据え、衝撃的な結末へと疾走してゆく。守り抜く愛と奪い取る愛の激しい衝突。そのはざまにゆれる男の本能と理性。「SEXのことを考えるとき、なぜ人はそれを愛と称するのか？」という命題を圧倒的な映像美で描いている。

●STORY●

フランコ政権下、スペイン。兵役を終えた青年パコが恋人トリーニの元に戻ってきた。トリーニの計らいで下宿先を決めたパコは仕事を探すが、戦後の不況で仕事はなかなか見つからない。しかし、運命のいたずらか、この下宿が2人の行く先に暗い影を落とすはじめる。夜、疲れ切って帰ってきたパコを大家の未亡人ルイサは当然のようにベッドに迎え入れた。若いパコはたちまちルイサの体のとりこになってゆく。

ルイサはゆすりや悪事を重ねて暮らす、したたかな女であった。ある日、パコが婚約者のトリーニと寄り添って歩いているのを見かけたルイサは激しい嫉妬にかられる。いつしか真剣にパコを愛しはじめていたのだ。トリーニもパコの態度に不信感を抱き、ルイサとパコの関係を疑っていた。トリーニはパコを取り戻すため、今までかたくなに守ってきた純潔を捧げることを決意する・・・。守り抜く愛と奪い取る愛。対照的な愛のはざまにゆれうごくパコの本能と理性。愛は迷走し、ひとつの結末に向かって動きはじめた!

ビクトリア・アブリル主演  
官能の新境地がベルリン映画祭で銀熊賞を受賞

美しき未亡人を演じるのはP・アルモドバル作品の常連で、日本でも人気の高いビクトリア・アブリル。衝撃的なSEXの手法で男を虜にする年上の愛人ルイサを熱演、アメリカのマスコミから大絶賛をあげた。可憐な婚約者トリーニを演じるのはスペイン期待の新進女優マリベル・ベルドゥー。パコを演じたホルヘ・サンスと共にBunkamura・シネマ公開の「ベル・エボック」に主演している。



キャスト■ビクトリア・アブリル  
「アタメ」「ハイヒール」  
マリベル・ベルドゥー  
「ベル・エボック」  
ホルヘ・サンス  
「ベル・エボック」  
製作■ペドロ・コスタ・ムステ  
監督■ピセンテ・アラダ  
脚本■アルバロ・デル・アーモ  
カルロス・ベレス・メリネロ  
ピセンテ・アラダ  
音楽■ホセ・ニエト  
編集■テレサ・フォント  
撮影■ホセ・ルイス・アルカイネ  
「ハモンハモン」「ベルエボック」

1991年スペイン映画/カラー/ビスタ/1時間43分  
配給/翰ウエスト・ケープ・コーポレーション



'94年陽春、独占ロードショー!!

- お得な前売り鑑賞券¥1,400(当日¥1,700の処)好評発売中
- 劇場窓口にて特別鑑賞券をお求めの方には「アマンテス」の特製ポストカードを  
もれなくさしあげます。

銀座三越先・歌舞伎座手前  
**銀座 シネパトス**  
03(3561)4660  
11:20 1:15 3:10 5:05 7:00

